

2026年3月10日
昭和産業株式会社

油脂製品価格改定について ～2026年4月1日納品分より～

昭和産業株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長執行役員 塚越英行）は、2026年4月1日納品分より、家庭用および業務用油脂製品の価格改定を下記の通り実施いたします。

食用油を取り巻くコスト環境は非常に厳しい状況が続いております。食用・燃料用需要の高まりを背景にした旺盛な油脂需要と、それに伴う主要原料相場（大豆・菜種他）の高止まり、為替相場の円安基調、包装資材費やユーティリティコスト、物流経費、外注人件費など諸経費の上昇といった、製品を製造しお客様へお届けするためにかかる、様々な費用が上昇していることがその要因です。

このため当社は2025年9月からの油脂製品価格改定を発表し、御取引先様にご理解を求めて参りました。しかしながら、未だ上昇するコストを吸収できる水準までには至っておりません。

さらに直近では、中国の油脂原料買付方針の変化から原料相場の上昇、米国のバイオ燃料混合義務量発表を控えて需要拡大の期待からオイルバリューの上昇、中東地域の地政学リスクの高まりから原油相場の高騰など、コスト環境は厳しさを増し、そして不安定かつ不透明な状況に拍車がかかっております。

こうした状況を踏まえ、本年4月より改めて油脂製品価格改定を実施いたします。

弊社といたしましても最大限の経営努力により上昇するコスト抑制に努めてまいりますが、現行の価格水準ではコスト高の影響を吸収することは極めて困難な状況となっており、今後も安定して高品質な製品を提供するために、何卒ご理解を賜りますよう、お願い申し上げます。

記

1. 実施時期

2026年4月1日（水）納品分より

2. 対象商品、および改定内容

家庭用食用油	15%以上の価格引き上げ
業務用食用油、ミニローリー、加工用バラ	15%以上の価格引き上げ

以上